

かえで寄席

真打昇進襲名披露

喬の字改め 五代目 柳家小志ん 独演会

平成29年と30年に亘り、かえで寄席で古典落語を演じてくれた柳家喬の字さん。軽妙な動作や人情哢に会場は大笑いしたり、ボロリとさせられたりと大いに楽しませてくれました。

昨年9月には真打に昇進し、同時に 五代目 柳家小志ん を襲名。若手のホープとして将来を嘱望されています。真打昇進襲名披露興行を上野鈴本演芸場を振出しに新宿末廣亭、浅草演芸ホール、池袋演芸場、半蔵門国立演芸場と活躍中。今回小志ん師匠を「かえで寄席」にお招きしたところ、快くご承諾いただきました。寒い冬を大きな笑いで吹き飛ばしてください。

令和2年2月10日(月)

愛宕かえで館 2階ホール

開場：13時00分

開演：13時30分

販売中

木戸銭500円
(前売券)400円
先着100名様

申込1月25日10時から
かえで館窓口へ

平成29、30年とかえで寄席に出演。真打昇進後 初のかえで寄席に出演です。一段と磨きの掛った話芸をお楽しみください。



五代目 柳家小志ん(略歴)

- 昭和53年 埼玉県さいたま市出身。
- 平成16年 柳家さん喬に入門。
- 平成17年 前座となる。前座名「柳家小きち」
- 平成20年 ニツ目昇進。「柳家喬の字」と改名。
- 平成31年 真打に昇進し、喬の字改め、同時に五代目「柳家小志ん」を襲名。現在に至る。



～ 健康と絆 ～ スポーツウエルネス吹矢のころ

的に当たる爽快感！楽しみながら、健康を維持しよう！ 参加者募集！

令和2年2月12日(水) 13時～16時 2階ホール

吹き矢という言葉から、どのような連想をされますか。狩猟、忍者、危険、などでしょうか。スポーツウエルネス吹き矢は、子供から高齢者まで、さらに障がいのある方、誰もが楽しめる安全な生涯スポーツとして確立されています。全国でスポーツウエルネス吹き矢に励んでいる会員数は7万人弱、まだメジャーなスポーツとは言えませんが、近年はテレビはじめ各種メディアで取り上げられる機会が増え、知名度も上がり会員数が急速に増加しています。また、ハワイ、韓国など海外にも普及しています。



多摩市内には6つの支部があり、5歳児から80歳代までの200人を超える会員が和気あいあいと活動中です。また、4ヶ所のデイケアセンター、3ヶ所のコミュニティセンター、2ヶ所の学童クラブで、リハビリや健康育成活動の一環として実施されています。

愛宕かえで館では、令和の幕開けと共に皆様の健康の維持増進の一助となるよう、健康育成部会による「スポーツウエルネス吹き矢教室」がスタートしました。過去2回の教室で50人を超える仲間が体験されています。健康に良いと注目されている腹式呼吸をベースとしたスポーツウエルネス吹き矢式呼吸法をマスターし、健康の維持増進を図るとともに一緒に学ぶ仲間との絆を深め楽しい時間を過ごしませんか。

初心者の方には楽しく練習できるように公認指導員が一からマンツーマンで丁寧に、経験者にはさらなる高得点をあげるコツをお教えしますので奮ってご参加ください。

☆定員：30名 どなたでも参加できます。

☆参加費：100円（初参加でマウスピースお持ちでない方は当日110円(税込)で購入できます。）

☆申込：受付中（電話申込可）※車でのご来館はできませんのでご了承ください。

“親子で参加”
日本文化を知ろう

多摩そばを作ろう！ 3月1日(日) 10時～14時 和室・調理室

昔から多摩に伝わる「多摩そば」という手打ち“うどん”を作しましょう！

材料費：200円

定員：20名(小学1年生以上 ※5年生以上から1人参加、大人のみも可)

持ち物：エプロン 三角巾 ハンカチまたはタオル

申込：2月3日10時～(電話申込可)



手打ちうどん作り

ポスター
シアター

童謡生誕100年

祝日のひと時 心に残る映画を観ませんか

総務部会

映画

「この道」

入場無料

2月24日(月・祝) 上映開始 10時 2階ホール 定員100名

～詩人・北原白秋と音楽家・山田耕筰の半生を友情とともに描くヒューマンドラマ～

映画「この道」

監督 佐々部清

2019年1月公開

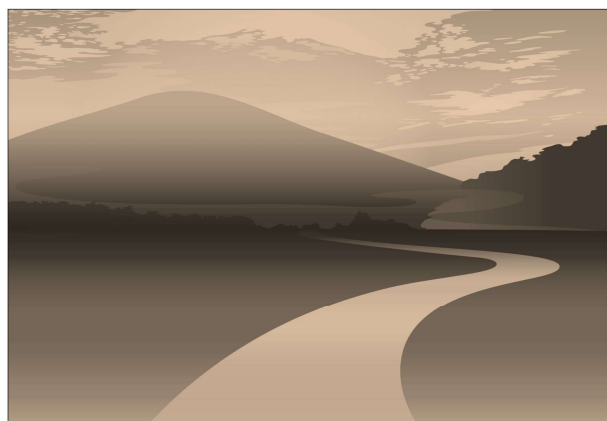
脚本 坂口理子

上映時間 105分

キャスト

大森南朋 AKIRA 貫地谷しほり 由紀さおり

安田祥子 柳沢慎吾 羽田美智子 松重豊



大正7年(1918年)、独創的な作風で天才詩人と称される北原白秋(大森南朋)は、児童文学誌「赤い鳥」の刊行者・鈴木三重吉(柳沢慎吾)を介して音楽家の山田耕筰(AKIRA)と出会う。当時、子供たちのための歌がドイツ童謡を日本語訳したものか伝承のわらべうたしかなかったため、鈴木は二人に童謡を創作するよう持ち掛ける。彼らは衝突を繰り返しながらもお互いの才能を認め、「からたちの花」「この道」「待ちぼうけ」「鐘が鳴ります」など数多くの童謡を生み出す。